

# 成田の舞台裏

普段何げなく利用している施設やサービスの裏側では、どのようなことが行われているか知っていますか。ここでは、普段は見るできない成田のさまざまな舞台裏を紹介します。

## 第2回 文化芸術センター ～アート魅力を最大限に～

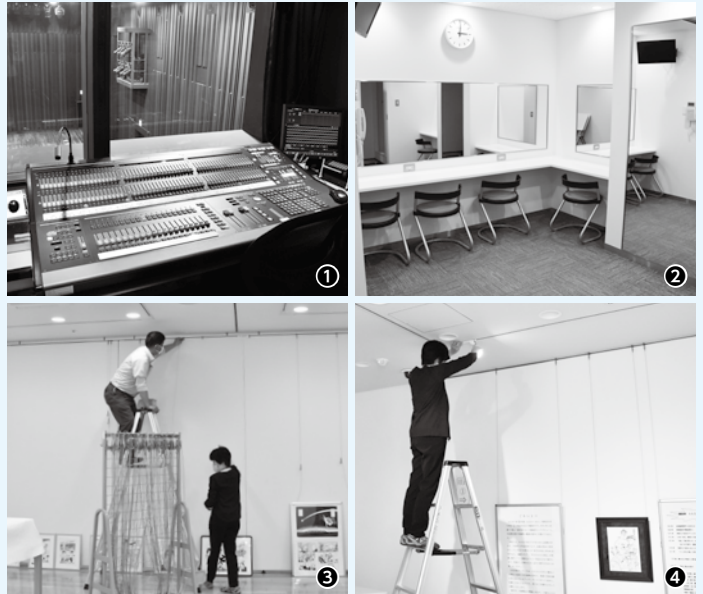
JR・京成成田駅の駅前に立地する文化芸術センター。幅広いジャンルのコンサートや落語公演などが開かれる定員301人のホールのほか、絵画や書道・華道、工芸などの芸術作品を展示する5つのギャラリー、さらには楽器練習のできる音楽室を備えています。

今回は、平成27年の開館以来、さまざまなイベントを開催している同センターの舞台裏を紹介します。

ホールには照明や音響を操作する調整室があり、専門スタッフが効果的な演出を行うための機器が備わっています。2室ある楽屋の中には全身が映せる大きな鏡やシャワーなどがあり、出演者が万全の状態で行演できるようになっています。

ギャラリーには可動式展示パネルが配置されていて、展示の内容や作品数などによってレイアウトを変えることができます。また、展示の際に重要なのが照明の使い方。光の明るさや角度によって作品の印象は大きく変わるため、照明の調整は欠かせません。職員みんなで意見を出し合い、作品を鑑賞するのにより良い環境を作り出しています。

ホールとギャラリーで市民の皆さんが文化芸術に触れる機会を提供する同センター。その舞台裏には、アーティストや作品の魅力を余すことなく伝えるための設備と職員の工夫がありました。



①舞台の様子を見ながら演出②出演者が準備を整える楽屋③展示パネルに吊り具を設置④照明を作品に当てながら微調整

## 皆さんがほっとできる場所に



細心の注意を払って額装する



さいとう しおり  
齋藤 菜里さん

ホールとギャラリーで年間20件ほどのイベントを主催しています。開催時に大切にしていることは、子どもからお年寄りまで誰でも楽しめるようにすること。展示物の高さを子どもの目線でも見やすいように設定することもあります。疲れたときやほっと一息つきたいときに、誰もが気軽に立ち寄ってもらえる場所にしていきたいです。

## 舞台裏の様子をYouTubeでも

右のQRコードから成田市公式YouTubeチャンネルにアクセスして、スマートフォンやタブレットなどから、取材の際に撮影した動画やスライドショーを見ることができます。



成田市公式  
YouTubeチャンネル

## 編集後記

成田の春の風物詩、成田太鼓祭が開催されました。久しぶりの大イベントなので、気合いを入れて臨みましたが、初日の朝は小雨が降って肌寒い空模様。中止かもと思いつつ会場に到着すると、表紙の千願華太鼓の練習が行われていて、雨雲を吹き飛ばす勢いの演奏が披露されていました。その勢いに押されるように天気も回復し、太鼓パワーを感じる場面も。今月は2ページの伝統芸能まつり春の陣も開催されるので皆さんも感染症対策を万全にして出掛けてみませんか。

令和4年5月15日号 No.1459

成田市のホームページ

<https://www.city.narita.chiba.jp>

\*QRコードは㈱デンソーウェブの登録商標です



\*本紙は5月6日時点の情報を掲載しています。最新情報は各ページの問い合わせ先や市ホームページで確認してください

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

広報なりたは、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす用紙、誰にでも読みやすいUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています。